福島県立二本松工業高等学校
同窓会 会報

第20号
令和３年３月１日

発行所
福島県立二本松工業高等学校同窓会
〒964-0937
福島県二本松市榎戸1丁目58ノ2
TEL　0243-23-0960
FAX　0243-22-7388
発 行 者　丹治茂雄
印　　刷　株式会社丸井工文社
発行部数　3,000部

校歌

詞　草野心平
曲　小山清茂

一
日輪は　天にかがやき
阿武隈は　光る動脈
ここ榎戸の　美しき地に
日毎集る　われら若人
腕組まん　ともに
学ばなん　ともに
真善美　ひたに求めて
ああ母校　二本松
われらは愛す　われらが母校

二
新しく　時はめぐりて
安達太良に　白き雲沸く
ここ榎戸の　台地より見る
あの高さこそ　われらが理想
眉あげん　ともに
はげまなん　ともに
大いなる未来　ひたに望みて
ああ母校　二本松
われらは愛す　われらが母校

CONTENTS

同窓会会長挨拶／学校長挨拶……2
輝く松工生!!……3
新会員のことば／学校近況……4
進路状況……5
大会成績……6
同窓会だより……6
母校だより……8

■松工Ｅ－メールアドレス
nihonmatsu-th@fcs.ed.jp

■松工ホームページアドレス
https://nihonmatsu-th.fcs.ed.jp

同窓会会長挨拶

丹治　茂雄

プロフィール

昭和二十三年、現在地、二本松市竹田に生まれる。
昭和四十年度、松工機械科卒業、クラブ活動は計算尺クラブ。
昭和四十五年度、福島大学経済短期大学部卒業。
昭和四十一年、㈱福島製作所へ入社、昭和六十二年退社。
昭和六十二年、日特エンジニアリング㈱へ入社、平成二十年三月定年退職。
趣味は、旅行・ダンス・山歩き等。
定年退職後、健康維持と地域活性化のため、趣味の社交ダンス・フォークダンス（スコティッシュカントリーダンス）の公認指導者として、ダンスの普及活動を行いながら、町内会・交通安全指導隊・松寿会等の地域ボランティア活動を行い、現在に至る。

早春の候、会員の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

本校は昭和三十七年度に開校し、今年の四月には第六十期生が入学してきます。同窓会は昭和三十九年度、第一期生八十八名の卒業により発足し、今年は第五十七期生百十七名がめでたく卒業され（卒業生総数一万千九百七十一名）入会されます。

コロナ禍により残念ながら入会式は開催出来ませんが、卒業生を暖かく迎え入れ、これからは同窓会の仲間として、共に会員相互の親睦を図りながら、母校の発展に寄与し、郷土の開発先導に努め、広く社会に貢献していきたいと思います。

二年後（令和五年度）に開校する統合校に関しては、校名・制服・校章・校歌等の検討が、今年より始まると思います。コロナ禍で大変な時期ですが、ぜひ皆さんの貴重なご意見をお聞かせ頂き、広く中学生や社会に望まれる、希望に満ちた統合校にしていければと思います。

本年度は新型コロナウイルス問題があり、国家試験や検定試験も例年通りの開催とはなりませんでしたが、その中でも後輩たちは、「資格の松工」と、可能な限りの試験に挑戦し、多くの資格を取得しました。指導された先生方、資格を取得された皆さんにお祝い申し上げます。

本年度の同窓会からの激励金は、数少ない大会の中でも頑張って力を発揮された、バドミントン部の第四十九回全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会出場（一月）に対し、お祝いと更なる躍進を願い、激励金を贈呈いたしました。

最後になりましたが、コロナ禍で思うように会合も開けない状態ですが、これからも同窓会活動に皆様方の力強いご指導・ご協力をお願いし、皆様方のご活躍・ご健勝をお祈り申し上げ、挨拶といたします。

学校長挨拶

金田洋一郎

プロフィール

南相馬市出身　専門教科は工業（電子）。
趣味はスポーツ観戦、読書、星の観望、昨年から楽器（トランペット）演奏が追加。郡山北工業高校、川俣高校、小高工業高校、二本松工業高校、小高工業高校（教頭）、平工業高校（教頭）、小高産業技術高校（副校長）と勤務し、平成三十一年四月に着任し、現在に至る。

同窓会の皆様には、日頃から御支援と御指導をいただき、心より感謝申し上げます。

おかげさまで、本日、第五十七回の卒業式を迎え、新たに百十七名の卒業生を送り出します。社会に出て支えとなるのは、何よりも同窓生の皆様の存在です。新社会人となる後輩達に、温かい御指導・御鞭撻をお願いします。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、三月から五月までの三ヶ月間の休校措置、インターハイ等の各種大会中止、また、資格試験も影響を受けて六月までの試験が中止となり、卒業生にとっては苦難の一年でした。しかし、同窓会の諸先輩の御支援で、無事進路希望一〇〇％を実現できました。誠にありがとうございます。

さて、県立高等学校改革前期実施計画に基づき、本校と安達東高校との統合について、令和二年八月二十四日（月）に同窓会会長に御出席いただいた「第三回県立高等学校改革懇談会」において、統合が決定しました。続いて、令和三年二月三日（水）に安達東高校で「第三回教育内容検討委員会」が開催され、各小委員会が設置することで令和五年四月の開校に向けて動き出しました。今後も地域に根ざし、地域に愛され、地域の中核を担う人材育成に努めたいと思いますので、一層の御協力と御支援をお願いします。

最後になりましたが、同窓会の皆様におかれましては、あらためて本校の取り組みに温かい御支援をお願いするとともに、会員の皆様のますますの御活躍・御健勝をお祈り申し上げ、挨拶とします。

輝く松工生!!

バドミントン部

私たちバドミントン部は、令和二年十一月から始まった新人戦に参加しました。地区予選では男子学校対抗戦で準優勝し、個人戦でもダブルス優勝、シングルス第三位（二名）を含め、ダブルスでは三組、シングルスでは八名の選手が県大会に出場しました。

県大会での学校対抗戦の初戦は、会津学鳳高校と戦いました。セット数の取り合いが続く接戦の中、先に三セットを勝ちとることができ初戦を突破しました。そして二回戦の須賀川桐陽高校、三回戦目のいわき光洋高校との戦いをストレートで三セットとることができ準決勝まで進むことができました。迎えた相手は、ふたば未来学園でした。粘り強く戦い惜しい場面も多くみられましたが一セットもとることができず0―3で敗れてしまいました。昨年はベスト8でしたが、今回はベスト4、三位入賞という成績を収めることができ、さらに東北大会への出場が決まりました。

年が明け、一月十四日から秋田県で全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会が行われました。数日前の大雪や、新型コロナウィルスの影響で開催が危ぶまれましたが、感染予防対策を入念に行い選手八名と顧問二名で参加してきました。初戦は宮城県第二代表の東北高校と戦い0―3で敗れました。東北ブロックのレベルの高さを感じることができ、「東北大会で一勝する」という次の目標ができました。

今年の部活動は、練習時間が短くなったり中止になったりと大変な時期がありましたが、選手たちは各自体力づくりを行ったり、技術力向上のために体育館を借りて練習するなど、大会に向けて努力を積み重ねてきました。その努力があったからこそ今回の結果を残すことができたと思います。

バドミントンは個人競技ですが、二本松工業高校バドミントン部は一つのチームです。そのために練習ではお互いにアドバイスをしたと自分だけでなくみんなで成長していくことを意識して取り組んでいます。二年生にとっては次の大会が高校生活最後の大会になります。一試合でも多く勝ち進み悔いの残らない試合ができるよう、今までよりも一層練習に力を入れて取り組んでいきたいと思います。

マネージャー二年　高橋采里

東北大会出場者

二年一組機械システム科
安田　京平
伊藤　　新

一年一組機械システム科
高橋　歩夢
大内　雅也
佐藤　　颯
斎藤　颯斗

一年三組都市システム科
佐久間健大
石井　政人

新会員のことば

三年二組　大友駿之介

この度、栄えある二本松工業高等学校の同窓会へ入会できることを心から嬉しく思います。

思い起こせば三年前、私たちは期待と不安が入り混じった複雑な思いで、入学式に臨みました。クラスの友達とすぐ馴染むことができ、数々の行事を一致団結し成功を収めることができました。また、「資格の松工」の名を更に広めるべく、ひとりひとりが学習や実習を通して知識や技術を身に付け、多くの資格を取得することができました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により求人数の減少が心配されていましたが、多くの求人を頂きました。その結果、19年連続内定100%を達成することができました。先輩方の多方面での活躍、今までの伝統・歴史が無ければこのような状況下で、達成することはできませんでした。

最後になりますが、二本松工業高等学校で学んだことを糧に、多くの期待に沿えるよう、それぞれの進路先で邁進していきたいと思います。まだまだ未熟者ではありますが、皆様方の温かいご指導ご助言をよろしくお願いいたします。

学校近況

過去5年間の資格検定試験年間取得数の推移

令和３年２月１日現在

	資格名	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
国家試験	ガス溶接技能講習		76	41	39	37	35
	ボイラー取扱技能講習		64	77	41	38	39
	電気工事士	第１種	8	16	7	2	1
		第２種	14	17	21	10	13
	危険物取扱者	乙１類	1	1		3	
		乙２類	2	1		2	
		乙３類	1	1			
		乙４類	4	9	2	4	3
		乙５類	0	1			
		乙６類	1	1		1	
		丙種	0	0			
	消防設備士	乙４類	2				
	土木施工技術者	２級	2	8	10	23	23
	車両系建設機械運転技能者	小型車両	23	16	29	6	3
		小型クレーン	28	6	25	8	17
		フォークリフト	56	35	85	42	2
		高所作業	6	3	14	2	
		締固用機械	11	6	17		1
		玉掛け	45	10	41	7	4
	工事担任者試験	ＡＩ・ＤＤ総合種				1	
		ＤＤ第一種	1	0	4		
		ＤＤ第三種	15	13	7	15	7
	技能士（機械加工／普通旋盤）	２級	0	2			
		３級	0	5		1	
	ITパスポート		1	4	0		

	資格名	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成2年度
検定試験	実用英語能力検定	準２級	0	1	0		1
		３級	3	2	1	2	1
	リスニング英語検定	１級	0	0	0	7	
		２級	8	20	4	37	5
		３級	36	42	12	34	26
	計算技術検定	１級		1			
		２級	0	1	0	1	1
		３級	125	61	114	118	90
	日本漢字能力検定	２級	0				
		準２級	2	1	0	1	4
		３級	17	5	12	15	27
		４級	33	11	58	18	10
		５級	4	0	4		
	情報技術検定	１級	0				
		２級	11	6	4	11	15
		３級	22	26	57	32	27
	実用数学技能検定	準２級	3	0	0		
		３級	7	2	0		1
	基礎製図検定		28	44	15	5	16
	機械製図検定		33	26	32	25	25
	測量技術検定	１級	30	24	35	32	38
		２級	41	45	33	37	38
	パソコン利用技術検定	１級	0	2	0		
		２級	1	1	4	1	3
		３級	102	61	57	63	60
合計			867	655	784	641	536
生徒数			420	401	380	354	333
一人あたりの平均年間取得数			2.06	1.63	2.06	1.81	1.61

令和２年度　進路内定状況　（令和３年２月８日現在）

学科・クラス	生徒数（女子数）	就職				進学			未定
		県内	県外	公務員	縁故自営	大学	短期大学	専門学校	
機械システム科１組	40（0）	29（0）	4（0）	1（0）	1（0）	1（0）	0	4（0）	0
情報システム科２組	40（13）	20（7）	3（0）	3（0）	1（1）	3（0）	2（2）	8（3）	0
都市システム科３組	37（3）	24（1）	2（0）	2（0）	0（0）	2（1）	0（0）	7（1）	0
合　　計	117（16）	73（8）	9（0）	6（0）	2（1）	6（1）	2（2）	19（4）	0
	計	90（9）				27（7）			0
	進路別率	76.9%				23.1%			0.0%

就職　県内	
株式会社アダチ・プロテクノ	福島プラスチックス株式会社
株式会社エイクラ通信福島工場	前澤給装工業株式会社福島工場
NOKエラストマー株式会社東北事業所	ヤマト運輸株式会社福島主管支店
株式会社遠藤保温	ニプロファーマ株式会社鏡石工場
沖マイクロ技研株式会社	ＡＧＣエレクトロニクス株式会社
佐川急便株式会社	奥越部品株式会社
株式会社佐藤組	壁巣建設株式会社
三光化成株式会社福島工場	三立土建株式会社
株式会社サンライト	東部ガス株式会社福島支社
トヨタ工機株式会社	株式会社東北村田製作所郡山事業所
株式会社日東福島工場	日本ニューホランド株式会社
二本松シール工業株式会社	福島軌道工業株式会社
有限会社根本組建設	福島ノーミ株式会社
株式会社野地組	富士ダイス株式会社郡山製造所
福島サンケン株式会社	株式会社ミヤマ
株式会社マルサン	株式会社三善自動車工業
マレリ福島株式会社	矢田工業株式会社
ライオン菓子株式会社二本松工場	有限会社山田土木
斎藤建設工業株式会社	川口内燃機鋳造株式会社福島工場
東新技建株式会社	株式会社デンソー福島
株式会社ＩＮステンレス加工センター	大槻電設工業株式会社
株式会社青木食品	北芝電機株式会社
アサヒロジ株式会社	協三工業株式会社
アルス株式会社	東開工業株式会社
有限会社飯田製作所福島第二工場	ＮＩＴＴＯＫＵ株式会社
石橋建設工業株式会社	株式会社日高電設
川名建設工業株式会社	福島キヤノン株式会社
菅野建設工業株式会社	福島製鋼株式会社
東北センコー運輸株式会社福島営業所	株式会社ヤクルト本社福島工場
株式会社ピックルスコーポレーション	ネッツトヨタ福島株式会社
株式会社福島芝浦電子	いわき大王製紙株式会社

就職　県外	
トヨタ自動車東日本株式会社	山九株式会社鹿島支店
日本道路株式会社東北支店	大崎建設株式会社
東北電力ネットワーク株式会社	株式会社日本デジタル研究所
株式会社ＳＵＢＡＲＵ群馬製作所	株式会社チバコー

公務員　県外	
原子力規制庁職員技術職	福島県職員土木職
福島県職員電気職	自衛隊一般曹候補生

大学・短大	
日本大学工学部電気電子工学科	立命館大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科
日本大学工学部情報工学科	サイバー大学
東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科	郡山女子大学短期大学部地域創成学科
東日本国際大学健康福祉学部社会福祉学科	仙台青葉学院短期大学歯科衛生学科

専修学校等	
日本コンピュータ学園東北電子専門学校高度ITエンジニア科	Wiz国際情報工科自動車大学校情報システム工学科
仙台デザイン専門学校グラフィックデザイン学科	郡山看護専門学校准看護学科
東京IT会計専門学校仙台校	郡山健康科学専門学校作業療法学科
福島介護福祉専門学校介護福祉科	郡山理容学校理容科
JO-BI国際ビジネス公務員大学校スポーツビジネス科	福島県立テクノアカデミー郡山職業能力開発校建築科
Wiz国際情報工科自動車大学校自動車工学科	福島県農業総合センター農業短期大学校畜産経営学科
Wiz国際情報工科自動車大学校自動車車体工学科	早稲田美容専門学校美容科
Wiz国際情報工科自動車大学校ゲームソフト開発科	東京アニメーター学院専門学校アニメーション学科

同窓会だより

■総会報告■

令和２年度福島県立二本松工業高等学校同窓会総会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、二本松工業高校のホームページに掲載して実施をいたしました。

議事は、第１号議案令和元年度事業報告、第２号議案令和元年度決算報告並びに会計監査報告、第３号議案令和２年度事業計画（案）、第４号議案令和２年度予算（案）、第５号議案役員改選（案）について提出をいたしました。ご意見等もなかったため当該提出議案はすべて可決されたとみなしました。

次年度につきましては、実施の方向で考えておりますが、新型コロナウイルス感染症の状況を見据えながら判断をさせていただきます。何卒御理解を賜りますようお願いいたします。

令和２年度　各種大会成績報告

◆野球部

○福島2020夏季高等学校野球大会
　二回戦　　松工　２－８　相馬東

◆卓球部

○全日本卓球選手権大会福島県予選会（ジュニアの部）
　男子シングルス　２回戦敗退　髙橋瑞樹
　　１回戦敗退　渡邊　駿
○令和２年度福島県高等学校新人体育大会卓球競技
　男子学校対抗　１回戦敗退
　男子シングルス　３回戦敗退　髙橋瑞樹

◆ソフトテニス部

○福島県高等学校３学年ソフトテニス選手権大会
　（第66回福島県高等学校体育大会代替大会）
　男子個人戦　渡邊純生・安齋敦也（松工）　０－４
　　田崎・大塚（学石）
　　渡邊純生・安齋敦也（松工）　２－４
　　瀬川・鈴木（帝京安積）
　　髙橋　塁・菅野和真（松工）　０－４
　　宗像・草野（田村）
　　髙橋　塁・菅野和真（松工）　２－４
　　高橋・門馬（小高産技）
○令和２年度福島県高等学校新人体育大会ソフトテニス競技
　男子団体戦　２回戦　松工　０－３　田村
　男子個人戦　髙橋優那・牛坂亮太　１回戦敗退

◆サッカー部

○第99回全国高等学校サッカー選手権福島県大会
　１次大会　２回戦　　松工　４－１　若松商業
　２次大会　３回戦　　松工　０－３　福島東
○高円宮杯JFAU－18サッカーリーグ2020福島（Ｆリーグ）
　Ｆ２リーグ　２勝２敗１分　リーグ残留
　　（今年度の昇格降格なし）
　Ｆ３リーグ　２勝２敗１分

◆柔道部

○令和２年度第60回福島県高等学校新人体育大会柔道競技
　73kg級出場　髙橋　塊
　60kg級出場　水田　秀

◆カヌー部

○第66回福島県高等学校体育大会代替大会カヌー競技
　男子Ｋ－１　第１位　小山田香貴
　　第２位　野地　寿
　男子Ｃ－１　第１位　水木智也
　　第２位　佐々木大地
　女子Ｋ－１　第２位　三木　芹
○第28回福島県高等学校新人カヌー選手権大会
　男子Ｋ－１　第１位　野地　寿
　男子Ｃ―１　第１位　水木智也

◆バドミントン部

○令和２年度第57回福島県高等学校新人体育大会バドミントン競技
　男子学校対抗　第３位
　　１回戦　３－２　会津学鳳
　　２回戦　３－０　須賀川桐陽
　　３回戦　３－０　いわき光洋
　　準決勝　０－３　ふたば未来
　男子ダブルス　ベスト16　髙橋歩夢・佐久間健大
　男子シングルス　１～３回戦敗退
○令和２年度第49回全国高等学校選抜バドミントン大会
　　東北地区予選会
　男子学校対抗　松工　０－３　東北（宮城県）
　　１回戦敗退

◆コンピュータ部

○第12回全国高等学校情報処理選手権
　情報処理部門ビギナー戦　オンライン大会出場
○パソコン甲子園2020
　オンライン予選　福島県８位

■ 令和２年度～令和３年度同窓会役員 ■

役職	氏名	卒業年度	科
会長	丹治茂雄	S40	機械
副会長	大内正人	S44	電気
〃	菊地清義	S44	電気
〃	小形義元	S48	土木
〃	熊谷勝則	S49	土木
〃	高橋薫	S49	機械
〃	山川博徳	S55	土木
会計	星光	S42	機械
監事	安斎邦衛	S54	機械
〃	鈴木新栄	S57	機械
〃	小沢源太郎	S60	土木
事務局次長	高橋周平	H5	電子
理事	齋藤喜市	S41	土木
〃	杉内洋介	S43	機械
〃	菅野和夫	S44	機械
〃	尾形巳芳	S47	電気
〃	本田正	S47	土木

役職	氏名	卒業年度	科
理事	鴨原彰	S49	機械
〃	橋本正一	S51	土木
〃	高橋道夫	S53	機械
〃	茂木安久	S55	機械
〃	鈴木朝裕	S57	土木
〃	加藤高洋	S59	土木
〃	金子智弘	S60	土木
〃	石川正功	S60	電気
〃	斎藤龍一	H5	電子
〃	佐藤幸好	H9	土木
〃	菅野雅利	H9	土木
〃	石川清徳	H10	土木
〃	二階堂卓也	H12	機械
〃	菅野健太	H12	機械
〃	安齋秀輝	H12	土木
〃	鴨原望美	H15	デザイン
〃	斎藤美奈	H15	デザイン

会報委員会

会報委員長	高橋薫
副委員長	鈴木朝裕
委員	大内正人
委員	高橋道夫
委員	石川清徳
委員	菅野健太
委員	鴨原望美
委員	斎藤美奈
委員	齋藤倫紹（事務局）
委員	佐々木英雄（事務局）

役員選考委員会

選考委員長	山川博徳
副委員長	菊地清義
委員	齋藤喜市
委員	小形義元
委員	鈴木新栄
委員	高橋周平
委員	山口真二（事務局）
委員	原田裕昭（事務局）
委員	鈴木正美（事務局）

事務局

事務局長	山口真二
事務局次長	佐々木英雄
事務局	原田裕昭
事務局	齋藤倫紹
事務局	小林龍一
事務局	鈴木正美

■ 令和元年度　同窓会収支決算書 ■

収入額合計	1,169,053円
支出額合計	867,545円
繰越金	301,508円

収入の部

科目	元年度予算額	元年度決算額	増減額	備考
会費	595,000	595,000	0	119人×5,000円
入会金	240,000	240,000	0	120人×2,000円
雑収入	1	3	2	預金利息等
入会金返金	0	4,000	△ 4,000	退会２名×2,000円
繰越金	338,050	338,050	0	
計	1,173,051	1,169,053	△ 3,998	

支出の部

科目	元年度予算額	２年度決算額	増減額	備考
会議費	160,000	182,750	22,750	役員会、同窓会総会
行事費	21,000	2,376	△ 18,624	入会式
通信費	35,000	47,576	12,576	総会案内ハガキ等
会報費	150,000	99,066	△ 50,934	会報発行(3,000部)
慶弔費	10,000	0	△ 10000	香典
記念品費	130,000	129,136	△ 864	卒業記念品（ホルダー）
後援費	200,000	230,134	30,134	激励金、野球・サッカー広告料　学校祭補助
事業費	200,000	169,734	△ 30,266	会報発送等(1459部)
事業積立金	0	0	0	
事務費	80,000	6,773	△ 73,227	会員データ入力費・事務用品
予備費	187,051	0	△ 187,051	
計	1,173,051	867,545	305,506	

激励金贈呈

バドミントン部（全国高等学校）選抜バトミントン東北大会

ものづくりコンテスト

ものづくりコンテスト（都市）

ものづくりコンテスト（情報）

ものづくりコンテスト（機械）

編集後記

新型コロナウイルスを初めて知ったのは約一年前のことだ。この目には見えない0・1㎛のウイルスに日本でもまだまだ苦しめられている。松工生においては、この一年に時差登校・部活の制限・休校・そして修学旅行の中止があったのを承知している。勉学に・スポーツにそして想い出作りを楽しみにしていた高校生活が一変してしまったのは残念でならないと思う。しかしこの経験を活かして社会生活を送ってもらいたい。

今回の会報発行にあたり、学校と協議をした。学校側の最大の目標は必ず卒業式を行い送り出すことでした。部外者との接触も制約されていることからコラムリレーと協賛広告を依頼しないことにしました。協賛社におかれましては何卒ご理解を頂きたいと存じます。次回は復活させますので宜しくお願いします。

会長と校長先生の挨拶にもありますが、松工と安達東は令和五年四月に統合されます。あと二年です。同窓会としても基本構想を作成し、着実に準備してより良いスタートをしたいものだ。

平成十三年十月に第一号会報が発行され、今回が第二十号になりました。過去にはどんな記事だったかと学校のホームページの「同窓会」から同窓会報を開いてみた。座談会・回顧録・応援歌作詞の桂沢さんの秘話・実習棟の改築・同窓会からの記念碑贈呈等々。なぜだか初めて読んだ記事がある。それは予算の関係から卒業年度で五年・十年に分けて発送しているからです。今回第二十号は十一回卒から二十回卒の皆様に送ります。会報の必要な方は事務局まで連絡下さい。またホームページをお訪ね下さい。

会報委員長　高橋　薫
副委員長　鈴木朝裕
委　員　大内正人　高橋道夫
石川清徳　菅野健太
鴫原望美　斎藤美奈
事務局　齋藤倫紹　佐々木英雄

※会報誌20号の役員の役職に誤りがありました下記の通り訂正しお詫び申し上げます

令和2年度～令和3年度同窓会役員

会　長	丹　治　茂　雄	S40　機械
副会長	大　内　正　人	S44　電気
〃	菊　地　清　義	S44　電気
〃	小　形　義　元	S48　土木
〃	高　橋　　薫	S49　機械
〃	山　川　博　徳	S55　土木
〃	鈴　木　新　栄	S57　機械
会　計	小　沢　源　太　郎	S60　土木
〃	小　林　龍　一	機械システム
監　事	安　斎　邦　衛	S54　機械
〃	鈴　木　朝　裕	S57　土木
〃	金　子　智　弘	S60　土木
事務局長	山　口　真　二	機械システム
事務局次長	高　橋　周　平	H5　電子
〃	佐　々　木　英　雄	情報システム
理　事	齋　藤　喜　市	S41　土木
〃	星　　光	S42　機械
〃	杉　内　洋　介	S43　機械
〃	菅　野　和　夫	S44　機械
〃	尾　形　巳　芳	S47　電気
〃	本　田　　正	S47　土木
〃	熊　谷　勝　則	S49　土木
〃	鴫　原　　彰	S49　機械
〃	高　橋　道　夫	S53　機械
〃	茂　木　安　久	S55　機械
〃	加　藤　高　洋	S59　土木
〃	石　川　正　功	S60　電気
〃	斎　藤　龍　一	H5　電子
〃	佐　藤　幸　好	H9　土木
〃	菅　野　雅　利	H9　土木
〃	石　川　清　徳	H10　土木
〃	二　階　堂　卓　也	H12　機械
〃	菅　野　健　太	H12　機械
〃	安　齋　秀　輝	H12　土木
〃	鴫　原　望　美	H15デザイン
〃	斎　藤　美　奈	H15デザイン

〔　歴代会長　〕

S41～S44	鈴　木　清　治	S39　電気
S45～H11	阿　相　利　和	S39　機械
H12～H15	佐　藤　昭　次	S41　土木
H16～H19	菅　野　吉　三	S42　機械
H20～H25	佐　藤　忠　司	S40　土木
H26～H29	秋　山　孝　雄	S39　機械
H30～	丹　治　茂　雄	S40　機械

〔　会報委員会　〕

会報委員長	高　橋　　薫
副委員長	鈴　木　朝　裕
委　員	大　内　正　人
委　員	高　橋　道　夫
委　員	石　川　清　徳
委　員	菅　野　健　太
委　員	鴫　原　望　美
委　員	斎　藤　美　奈
委　員	齋藤倫紹（事務局）
委　員	佐々木英雄（事務局）

〔　役員選考委員会　〕

選考委員長	山　川　博　徳
副委員長	菊　地　清　義
委　員	齋　藤　喜　市
委　員	小　形　義　元
委　員	鈴　木　新　栄
委　員	高　橋　周　平
委　員	山口真二（事務局）
委　員	原田裕昭（事務局）
委　員	鈴木正美（事務局）

〔　事務局　〕

事務局長	山　口　真　二	機械システム
事務局次長	佐　々　木　英　雄	情報システム
事務局	原　田　裕　昭	都市システム
事務局	齋　藤　倫　紹	情報システム
事務局	小　林　龍　一	機械システム
事務局	鈴　木　正　美	都市システム